

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2016年4月～2017年3月

1. 学校概要

学校名 福山市立内海小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 722 - 2641
広島県福山市内海町 73 番地

E-mail : shou-utsumi@edu.city.fukuyama.hiroshima.jp

Website : <http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp>

児童生徒数：男子 18 名 女子 24 名 合計 42 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

〈低学年〉

○体験的な学習を通して、身近な自然を楽しみ、自然の恵みに気付く。

1年：一人一鉢で育てよう（生活科）

- ・アサガオやパンジー、さつまいもやじゃがいもなどの四季折々の植物や野菜栽培を通して、日本の四季を肌で感じ、生命のつながりについて知る。

2年：遊びの達人あつまれ（生活科・図工科）

- ・清掃活動をしている「しやごしの浜」の漂着物や、身の回りにある普段は捨てられてしまう物を利用しておもちゃを作り、遊びのルールや作り方等を説明したり遊んだりする活動を通して、身近な自然や環境について考える。

〈中学年〉

○身近な自然や環境、文化を守るための方法や取組みについて考える。

3・4年：「しやごしの浜」生き物調査隊（総合的な学習の時間）

- ・清掃活動をしている「しやごしの浜」の生き物調査を計画的にする活動を通して、内海の海の現状や原因について考える。

〈高学年〉

○身近な生活や環境から解決すべき課題について調査活動をし、調査方法や結果、成果と課題等について自分なりの方法でまとめ表現する。

5・6年：ふるさと内海を見つめよう

～50年後の内海町に自分たちの願いを届けよう～（総合的な学習の時間）

- ・内海の水産資源環境から解決すべき課題について調べる活動を通して、住みよい豊かな瀬戸内海の環境づくりの取組みを知り、「自分たちのふるさと内海」を愛する心情を育てる。
- ・年間を通して気象観測データ（気温・湿度・天気・雲の量・気づき）の収集をして、環境の変化を分析し、環境問題について考える。

〈全校〉

○年間2回の学校近くの浜の地域清掃を通して、内海の海岸線のゴミの量や種類、現状と課題を考え、内海の浜を守るための方策やゴミ減量化に向けて地域や家庭でできることを考える。

○講師を招きEM菌の培養・プールへの投入活動を通して、水の浄化、水質汚染について考える。

〈委員会活動〉

○ゴーヤを育て緑のカーテンを作る活動を通して、緑のカーテンの効果を調べ温暖化対策について考え、自分たちにできることを実践する。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)

1年生



・今年はずいぶん収穫があったので、お家へ持って帰って家族で食べた。

2年生



・みんなアイデアを生かしてみんなが楽しめるおもちゃを作った。

3・4年生



・講師の先生が、きれいな海に生息している生き物がいると言われたのがうれしかった。

5・6年生



・底引き網体験では、網の中に様々なゴミが混ざって漁が難しくなっている。



・気象観測では、最高気温が年々上昇していることや長期間高温が続いている。

全校（海岸の清掃活動）



- ・小さくなったプラスチックの破片が多くなってきている。
- ・内海の海の環境にこれらのゴミが大きく影響しているはずだ。

全校（EM菌の培養・投入）



- ・EM菌がプールに住み着いているのか、年々水の汚れが少なくなっている。

委員会活動



- ・内と外では1.4度の差があった。
- ・今年はたくさんのゴーヤが実ったので、野菜カレーにして全校で食べた。